

事業報告

平成29年度 教育事業 教員免許状更新講習

平成29年9月2日(土)～3日(日)

【対象】小・中・高等学校教諭

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な知識や技術を身につける。また、学習指導要領における体験活動の位置付けについて理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

| 8:30 | | 9:00 | | 10:30 | | 10:45 | | 12:45 | | 13:30 | | 15:30 | | 15:40 | | 18:40 | | 18:50 | | 20:50 | | 22:00 | |
|-------------|--------|----------------------------|--------------------------------|--|--------|---|--|--------------------------------------|--|-------------------------------------|----------------|-------|--|-------|--|-------|--|-------|--|-------|--|--------|--|
| 1 日 目 | 受付 | 開 講 式 | 講義 「教育の現状 と課題」 (1.5h) | 実習 学級で活かせる 「体験活動を使 った人間関係づ くり①」(2h) | 昼 食 | 講義 学級で活かせる 「体験活動を使 った人間関係づ くり②」(2h) | | 実習 学級作りに活かす 体験活動「野外炊 飯」(3h) | | 実習 体験活動「キャ ンファイヤ」の指 導法(2h) | 入浴 自由 交流 | | | | | | | | | | | 就 寝 | |
| 7:20 | | 8:30 | | 10:30 | | 10:50 | | 14:20 | | 14:30 | | 15:30 | | 15:40 | | 15:50 | | 17:20 | | | | | |
| 2 日 目 | 朝 食 | 講義 「体験活動の教育 的意義」(2h) | | 実習 学級作りに活かす自然体験活 動「オリエンテーリング」 (昼食弁当を含む)(3.5h) | | 講義 「野外活 動におけ る安全管 理」(1h) | | 閉 講 式 | | 履修認定 試験 (1.5h) | | | | | | | | | | | | | |

～参加者～

39名(男性23名 女性16名)

(小学校教諭26名 中学校教諭8名 高等学校教諭4名 その他1名)

(長野県36名 新潟県1名 愛知県1名 埼玉県1名)

～活動トピックス～

講義Ⅰ 【教育の現状と課題】

講師：長野県教育委員会教学指導課教育主幹兼義務教育指導係長 佐倉 俊 氏

新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的・深い学び」について、また今の子ども達が抱えている課題や社会全体の問題点について理解を深めた。



講義・実習Ⅰ 【学級で活かせる「体験活動を使った人間関係づくり」】

講師：国立青少年教育振興機構指導主幹 北見 靖直 氏

まずはじめにプレイホールにおいて、人間関係を円滑にするためのアイスブレイクについて実習を行った。つぎに学習室で、アイスブレイクの効用などを具体例をもとに学んだ。

実習Ⅰ 【学級作りに活かす体験活動「野外炊飯」】

講師：国立青少年教育振興機構指導主幹 北見 靖直 氏

国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

危険予知トレーニング(KYT)をはじめに行ってから、カレーライス作りに取り掛かった。実際に作ってみることで、危険察知能力を高め、失敗しそうな場面を知ることができた。





実習Ⅱ 【体験活動「キャンプファイヤー」の指導法】

講師：国立青少年教育振興機構指導主幹 北見 靖直 氏
国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

キャンプファイヤーのオーソドックスな方法を学んだ。また、キャンドルファイヤーについても学んだことにより、キャンプファイヤーとキャンドルファイヤーのそれぞれの良さを比較しながら理解することができた。

講義・実習Ⅱ 【体験活動の教育的意義】

講師：信州大学理事・副学長 平野 吉直 氏

はじめに講義を聞き、後半に環境学習ゲームを2種類体験した。講義で学んだことを実習で体験することができ、理解が深まった。



実習Ⅲ 【学級づくりに活かす自然体験活動「オリエンテーリング」】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職

当施設プログラムの施設内オリエンテーリングと独自プログラムであるフォトオリエンテーリングをグループにわかれて行った。天候に恵まれたため、参加者は気持ちよい汗をかいていた。オリエンテーリング実施上の留意点を身をもって知ることができた。

講義Ⅲ 【野外活動における安全管理】

講師：国立信州高遠青少年自然の家 事業推進室長

リスクマネジメント（とくに実地踏査）の重要性について学んだ。実地踏査をしていない指導者には写真を見せるなどの具体的な方法で情報を知らせることが必要なことを知った。

～参加者の声～

- 現在の子供達や教育にとって自然体験活動が必要不可欠であることを学んだ。
- 講義はわかりやすく、実習は楽しく、とても充実した2日間だった。
- 様々な準備を丁寧にしてあって、気持ちよく受講できた。スタッフがずっと帯同してくれたので疑問点をすぐ聞くことができ、安心して参加できた。
- 座学だけでなくいろいろな活動があり、今後の指導に具体的な形で役立てられる。
- 2日間という限られた時間の中で凝縮された中身の濃い内容であった。
- とても充実した2日間だったので来年以降対象となる方にもすすめたい。

～成果と課題～

○講師の先生方の講義内容がよかったことと、講義と実習をバランスよく配置したことにより、2日間で18時間の受講というハードな日程であっても、参加者の方々から高い満足度を得た。来年度も同じ講師と同じ日程で開講するとよい。

○履修認定試験は参加者全員が基準を満足した。試験方法や内容は的確であったといえる。

○夜の情報交換会には、参加者全員の方が参加した。「違う校種など普段ふれあう機会のない先生方と交流する場があってよかった」という声が多かった。来年度以降も続けたい。